

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 12月 19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2272300861
法人名	有限会社 みなみ風
事業所名	グループホーム みなみ風
所在地 (電話番号)	富士市伝法1773-1 0545-53-6855

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年11月28日

## 【情報提供票より】(平成20年11月14日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 10 人, 非常勤	人, 常勤換算 8.2

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造平屋一部鉄骨平屋造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	43,050 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 600,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		800 円

### (4) 利用者の概要(平成20年11月14日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88.78 歳	最低 81 歳	最高 101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中クリニック、湖山病院、片岡歯科病院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

富士インター近くの静かな住宅地に小規模多機能型居宅介護施設を併設した開設後5年半を迎えたホームである。代表者で施設長の「その人らしい暮らしと終の棲家」としてのホーム運営理念を、職員が自主的に実践し、職員数人のグループによる利用者の日々のケアで利用者が明るく穏やかに暮らしているホームである。地域との活発な交流や、定期的な運営推進会議の活用、ケースカンファレンス～介護計画～見直しの仕組みや、ターミナルケアにも取り組んでいる。今後は外部評価・自己評価を個人・ホーム課題へ繋げる取り組みや、災害対策の地域協力関係作りなどを推進し、本人らしく最期まで終の棲家として暮らすホーム実践が期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度は小規模多機能型居宅介護施設開設もあり受審出来なかったが、18年度の外部評価の内容は全体会議で話し合い、出来ることからの改善取り組みが確認出来た。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で回覧、全体会議などで話し合いを行なっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は小規模多機能型施設と合同で定期的に行われ、市職員・民生委員・家族・地域住民の参加の下でホームの状況報告、職員の異動、ホーム課題などの話し合いが持たれ有効に活用している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム入り口に苦情受付を明記し、運営推進会議や面会時の問いかけなどで意見・不満・苦情等を表わす機会を設け、出された意見等は全体会議にて全職員が共有し、改善に努めている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の時に地域の人々への挨拶や声掛けを行っており、自治会に加入し、ごみ当番やお祭りなど地域の行事に参加している。中学生の福祉体験受け入れや、野菜などを頂いたり、近所の子供達が庭先に遊びに来てくれるなど地域との交流は活発に行われている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人代表で施設長の「その人らしく終の棲家で暮らす」の方針を、みなみ風理念として「みなみ風が吹く、第2の我が家で、ゆっくり、のんびり、なじみの仲間と、自分らしく、いつまでも」にまとめ、ホーム入り口に掲示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長の方針を毎月の全体会議で確認、話し合い、職員の自主性に任せてその実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩の時に地域の人々への挨拶や声掛けを行っており、自治会に加入し、ごみ当番やお祭りなど地域の行事に参加している。中学生の福祉体験受け入れや、野菜などを頂いたり、近所の子供達が庭先に遊びに来てくれるなど地域との交流は活発に行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度は小規模多機能型居宅介護施設開設もあり受審出来なかったが、18年度の外部評価の内容は全体会議で話し合い、出来ることからの改善取り組みが確認出来た。自己評価は全職員で回覧、全体会議などで話し合いを行なっている。	○	更なる取り組みとして外部評価や自己評価の内容を各職員やホームの課題として捉え、職員の研修課題やホームの改善目標設定などへ繋げることが期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は小規模多機能型施設と合同で定期的開催され、市職員・民生委員・家族・地域住民の参加の下でホームの状況報告、職員の異動、ホーム課題などの話し合いが持たれ有効に活用している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護認定更新申請時や、市による連絡会などの参加や、利用者や事業所としての相談などを通して関係作りを行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に様子を報告し、来訪が少ない家族には手紙や電話で相談や報告をしている。利用者の誕生日には近況のホーム便りも作られている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム入り口に苦情受付を明記し、運営推進会議や面会時の問いかけなどで意見・不満・苦情等を表わす機会を設け、出された意見等は全体会議にて全職員が共有し改善に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	併設施設の職員との交流や、職員数名のグループで利用者のケアを行っており、職員の離職等の利用者への影響が少なくなるよう工夫している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長は職員のレベルアップを目指し、個々の職員に相応しい外部研修を受講できるよう推進している。受講内容は研修報告により職員間で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域グループホーム連絡会での利用者を含めた交流や、職員同士の他ホーム実地研修の相互受け入れなどの交流などを通してサービスの質の向上やネットワーク作りの取り組みを行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	センター方式のアセスメントシートを活用し、家族の要望や本人の生活歴を聞き、入所当初の様子を観察し、利用者間の関係作りに注意を払いながら馴染みの関係作りに配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごすように心掛け、日常生活や日頃の会話などから利用者一人ひとりがその人らしい暮らしを送れるようにさりげない支援に徹している。利用者信頼できる関係づくりを大切に考えており、職員自身も利用者から学ぶ姿勢をもって支援にあたっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が利用者と共に生活する中で、その希望・意向を話し合い、困難な場合は表情や動作の合図などで収集しその実現に取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族や関係者より得た情報を基に、毎月のミーティングでケースカンファレンスを行い、職員から寄せられた案を基に計画作成担当者が介護計画を纏め作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	受け持ち職員が担当する生活援助計画の現況を、グループの職員達で毎月ケースカンファレンスを行い、見直しが必要な場合は家族とも相談し、現状に即した計画に作り直している。計画見直しは3ヶ月毎を基本とするが、大きな変化が生じた場合は随時対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	本人や家族の状況に応じて通 院や送迎等の支援の他、入っ て間もない利用者が夜間に 帰宅希望を強い場合は、最 初の頃は10時頃でも送って 行った事もあり、その時々 の要望に出来るだけ柔軟に 対応支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大 切にし、納得が得られたか かりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療 を受けられるように支援し ている	医療支援は月一度、近隣の クリニックの往診を受けて いる。本人や家族の希望が あれば、本人のかかりつけ 医の医療を受けられるよう 支援しているが、ホームの クリニックに移行して受診 する方が多い。		
19	47	○重度化や終末期に向けた 方針の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	利用者には「第二の我が家 」と認識頂き、当初より、 ターミナルまでお受けでき る方針を伝えた上で、入所 頂いており、本人・家族・ かかりつけ医・職員共々全 員で方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹 底 一人ひとりの誇りやプライバ シーを損ねるような言葉か けや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者には「自分らしく」 暮らして頂ける様、個性の 尊重及びプライバシーの保 護には気を配っている。介 護書類は事務所で施錠でき る場所に保管し、目に付か ない所に配している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優 先するのではなく、一人ひ とりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごした いか、希望にそって支援し ている	「ゆっくり、のんびり、な じみの仲間と自分らしく、 いつでも」をいつも念頭に 置いて、出来る限り利用者 の望む方向で過ごせるよう 支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	火・金曜日に食材販売車が訪問し、利用者の好みに基に食材を選び、自家の畑の収穫物も加え、食卓に載せている。利用者には食材の処理から食器を拭いたり、得意な分野でお手伝いをしている姿が見受けられた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入りたい時に入浴出来るよう、夕食前と就寝前に時間帯を分散して設け楽しく入浴して頂けるよう支援している。また、入浴者も介助者も負担が減少できる機械器具も完備している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の収穫、食事仕事の手伝い、買い物、外出支援、誕生会などの他、地元の小中学生にヨサコイ踊りを見せて貰う等、楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望と体調に合わせて買い物、ドライブ、近隣の方々へ声掛けなどしながらの散歩など、引き込まれるべく外気に当たれるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は鍵を掛けずに開放されており、居間と玄関入り口横の事務所から人の出入りが容易に見られる建物構造で、職員も鍵を掛ける事の弊害をよく理解している。常時注意を払いながら利用者の動きを見守っている職員の姿が見られた。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年二回実施しており、小規模多機能居宅介護施設が開設されてからは合同で行なっている。家具にも地震対策が施され、食料の備蓄も玄関入り口横に一ヶ月分の米が見受けられたが地域への協力体制作りなどはまだ十分とは言えない。	○	近隣消防署への消火・防災訓練の協力依頼や、運営推進会議を通じて地域自治会や住民との協力関係作りなどへ取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの適正摂取量を把握しながら食べやすい形状や柔度に留意し調理しており、水分摂取量も記録に残している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関からのスロープは広くなだらかで、車椅子でも容易に出入りできる気配りがなされている。居間は広く天井も高く開放的で、大きなガラス戸の外にはオープンデッキも設けられてあった。明るくゆったりした中に利用者の嫁入り道具だった桐ダンスも置かれ、居心地良く過ごせそうな工夫に富んでいた。		
30	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の馴染みの品々が置かれ、備え付けの戸棚もあり、整然と整理された部屋の壁は子供や孫の写真で飾られ「第二の我が家」が其処に見受けられた。		